

博物館だより



高岡市立定塚小学校4年生 博物館収蔵の生活道具などを見学

高岡市立定塚小学校4年生71名が平成22年12月1日、社会科の学習の一環として博物館を訪れ、当館が収蔵する明治から昭和頃にかけて使われていた生活用具などの資料40点を見学しました。

行灯や燭台などの照明器具、陶製湯たんぽや行火などの暖房器具のほか、炭火アイロン、和傘などの資料について学芸員が解説しました。普段はあまり見慣れない生活道具に、児童たちは「いつの時代に使われていたのですか」、「どういう時に使う物ですか」など熱心に質問し、資料のスケッチや特徴をまとめるなど理解を深めました。



利長くん

館蔵品展「新資料展」会期：平成23年2月5日(土)～5月8日(日)

博物館の重要な役割は、資料の「調査・研究」、「展示」、「教育普及活動」などが挙げられます。博物館では、「資料」を寄贈・購入・寄託などの方法により収集し、調査・整理して、日頃からその保存管理に努めています。ちなみに当館でいう「資料」とは、高岡を中心とした郷土の歴史・文化を語るうえで欠かせない貴重な文化財のことです。

本展では、これら年々多く収蔵される資料のうち、近年新たに収蔵した資料や未公開の資料を展示・紹介します。ここではそのうちの一部を紹介します。

歴史資料では、『藤井能三翁銅像建設記念帖』(八坂蜜子氏寄贈)を紹介します。これは大正11年(1922)に伏木町立伏木尋常高等小学校(現・高岡市立伏木小学校。明治6年能三が創立)に建設された伏木近代化の父・藤井能三の銅像建設を記念して出版されました。この銅像は、同校創立50周年を記念して大正11年3月25日に建設されました(台座設計・吉田鉄郎)。ところが昭和18年(1943)戦時供出され、その後同27年の同校80周年記念に改めて建設されています。

民俗資料では、計算機「OLIVETTI DIVISUMMA 26 GT」(荒俣勝行氏寄贈)を紹介します。本資料は昭和40～45年(1965～70)イタリア・オリヴェッティ社の製造で、同社では

毎回商品デザインを有名なアーティストや建築家、産業デザイナーなどに依頼しています。1960～70年代のオリヴェッティ社の製品は、今や第一級のモダン・アートと見なされ、生産量も限られていました。また本資料のデザインもイタリアのモダン・デザインの巨匠エットーレ・ソットサス(1917～2007)によるものであり、民俗資料のみならず、美術資料としても貴重であると考えられます。

このほかにも数多くの貴重な新資料を展示・紹介します。



『藤井能三翁銅像建設記念帖』
大正11年(1922)



計算機「OLIVETTI DIVISUMMA 26 GT」
平成40～45年(1965～70)

「高岡市立博物館 デジタルアーカイブ推進事業」が始まりました

当館では、平成22年10月から国の「緊急雇用創出事業」の補助金を活用し、「デジタルアーカイブ推進事業」を始めました。デジタルアーカイブとは、貴重な文化遺産を、記録精度が高く、映像再現性に優れたデジタル映像の形で保存・蓄積し、次世代に継承していくものです。資料をデジタル化することにより、資料の破損・劣化を防止することができると同時に、インターネットの普及により、これまで博物館・美術館などその場所でしか見ることのできなかった資料を、世界

中の人々がいつでも自由に閲覧できるようになります。

現在、当館の収蔵資料約2,600件23,000点(平成22年度末現在)を調査・整理し、台帳を整備・撮影し、システム上にデータを入力して資料のデータベース化を進めています。これらの情報をインターネットに公開し、市民の方をはじめ研究者、学校、マスコミなど多くの博物館利用者に対して、資料及び資料情報の幅広い利活用を目指しています(平成23年4月より順次公開予定)。



作業風景



当館収蔵資料検索システム トップメニュー(左)、資料詳細(右)

収 蔵 資 料 紹 介

■高岡古城公園「朝陽の滝」設計図

1点

昭和6年(1931) 島田駒次郎作

縦54.5cm×横79.0cm 平成21年 島田清心氏寄贈

昭和6年(1931)に高岡市上水道通水記念として竣工した朝陽の滝(高岡古城公園の本丸北東部)の設計図。滝の外観が墨画され、凡例として、地盤傾斜度(黒線)、海底線(青線)、両側石積傾斜度(赤線)が設計図内に書き込まれている。

本資料には同年12月19日付の工事期間延期願に対する許可書が付属しており、これは工事が手がけた庭師・島田駒次郎が、同7年4月20日まで工事期間の延長を申し出たことに対して、高岡市長・早苗西蔵から出されたものである。

朝陽の滝は一時断水状態だったが、同52年に復元され現在に至っている。



◆新収蔵資料紹介(平成23年2月末日現在)

○購入(29件121点)

〈購入順〉

○寄贈(36件345点)

〈受入順〉

No.	資料名称	数量	分類	備考
1.	筏井竹の門筆「金柑」・「鶏頭」・「月明く」	3	歴史	掛軸
2.	瑞龍寺仏殿銘瓦(軒平瓦)	1	歴史	掛軸
3.	高岡名勝絵葉書(桜馬場2、二上山)	3	歴史	掛軸
4.	伏木名勝絵葉書(測候所、港3、市街2、藤井能三銅像、勝興寺)	8	歴史	
5.	伏木港関係絵葉書(写生2、起工式当時の伏木港)	3	歴史	
6.	高岡名勝絵葉書「高岡駅前通りより丸越を望む」	1	歴史	
7.	筏井竹の門筆「朝顔」・「柳」・「薔」・「百合」・「尾山神社にて」・「紫蘭」	6	歴史	掛軸
8.	村岡歩筆「二上山図」	1	歴史	掛軸
9.	S Pレコード「夕日」(室崎琴月作曲/戦後)	1	歴史	
10.	『最新学校唱歌遊戯 第一輯』(室崎琴月・印牧季雄、昭和5年)	1	歴史	
11.	高岡関係絵葉書(前田利長公御廟所、国幣中社射水神社)	2	歴史	
12.	「富山県案内 附富山県商工業案内」(富山県及県人社、昭和3年第4版)	1	歴史	
13.	絵葉書(高岡公園ヨリ市街/展望、富山県主要生産品)	2	歴史	
14.	高岡名勝絵葉書(古城公園より二上山遠望、国幣中社射水神社、大仏)	3	歴史	
15.	山口花笠筆 和歌「白雲に」(円窓)	1	歴史	掛軸
16.	テレホンカード「国宝瑞龍寺(仏殿)」	1	歴史	
17.	あかね盆	1	歴史	
18.	絵葉書「高岡古城公園」	1	歴史	
19.	高岡関係絵葉書(高岡市街、越中伏木長谷川病院と有磯の海、伏木尋常高等小学校、伏木港ノ景、雪中之伏木市街(其一・其二))	6	歴史	
20.	高岡大仏座像(高岡産業博覧会記念品/昭和26年)	1	歴史	
21.	瑞龍寺絵葉書(仏殿、仏殿内部、法堂、山門、総門、石籬利長墓所、外観・梵鐘)	8	歴史	
22.	国泰寺絵葉書(天皇殿、方丈、観音堂、坐禅堂、法堂、茶室、開山尊像、仏足石)	8	歴史	
23.	写真「高岡駅前を走る万葉線」(昭和40～50年代)	1	歴史	デジタル画像
24.	伏木関係絵葉書(公会堂・図書館、伏木町地図)	2	歴史	
25.	絵葉書「富山湾雨晴名所/雨晴駅前海水浴場」	1	歴史	
26.	高岡関係絵葉書	28	歴史	
27.	高岡関係絵葉書	16	歴史	
28.	高岡市鳥瞰図(吉田初三郎原画/昭和25年)	1	歴史	リーフレット
29.	高岡関係絵葉書	9	歴史	

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
1.	古銭(古寛永通宝3、新寛永通宝19、文久永宝2、渡来銭7)	31	歴史	匿名希望
2.	写真「塩を運ぶ女仲士たち」(大正期)	2	歴史	〃
3.	高岡市イベント色紙・イベントサイン9	12	歴史	〃
4.	レンタンコンロ(練炭焔炉/戦後)	1	民俗	〃
5.	ライター(東亜合成化学株式会社ロゴ入り/昭和35年)	1	民俗	〃
6.	団扇(伏木の商店広告入り/昭和後期)	2	民俗	〃
7.	高岡アルミ50周年記念キーホルダー(昭和55年)	1	民俗	〃
8.	「地球ゴマ」(タイガー商会製/昭和30～40年代)	1	民俗	〃
9.	計算尺2・三角スケール	24	民俗	〃
10.	色鉛筆(3セット/ヘブンスター6、トンボ鉛筆12)	24	民俗	〃
11.	セルロイド製筆入れ	2	民俗	〃
12.	鳩目パンチ(トーヨー製)	1	民俗	〃
13.	16mmフィルム映画「輝く孝道 孝子六兵衛伝」	5	歴史	頌孝会
14.	筏井竹の門筆俳句短冊「庵杉の」・「砂畑の」	2	歴史	匿名希望
15.	鷲塚晩琬作「青銅十方盤」	1	歴史	
16.	皇太子殿下行啓記念絵葉書(5件)	16	歴史	藤本一夫氏
17.	種痘済証(第一期2、第二期2)	4	歴史	〃
18.	海事水産博覧会記念絵葉書	3	歴史	〃
19.	伏木絵葉書(2件/伏木港けんかやま8、観光の伏木5)	13	歴史	〃
20.	十銭普通切手「敵国降伏」	10	歴史	〃
21.	全国観光名所絵葉書(6件)	41	民俗	〃
22.	マッチ箱ラベル(高岡市内・県内外の飲食店など)	84	歴史	西岡多鶴子氏
23.	高岡市街図(昭和9年、1/6,750)	1	歴史	村田義弘氏
24.	「藤井能三翁銅像建設記念帖」(大正11年)	1	歴史	八坂蜜子氏
25.	広瀬旭莊筆「五絶」(江戸後期)	12	歴史	山田達雄氏・早苗裕子氏
26.	高岡市・富山県農協共済証書袋(昭和30年頃)	2	歴史	匿名希望
27.	児童用トランプ(スタートランプ/林寛子)	56	民俗	〃
28.	計算機「OLIVETTI DIVISUMMA 26 GT」(伊・オリヴェッティ社製、昭和40～45年)	1	民俗	荒俣勝行氏
29.	コロガシ(塩ビ管使用、戦前)	1	民俗	沙魚川好男氏
30.	「観光のしるべ」(高岡産業博覧会)	1	歴史	匿名希望
31.	高岡上水道通水式記念絵葉書	3	歴史	〃
32.	市立高岡実科高等女学校創立十周年記念絵葉書	1	歴史	〃
33.	標札「高岡市立中田図書館」	2	歴史	高岡市立中田図書館
34.	「一般用米穀類購入通帳」	1	歴史	佐藤秀一氏
35.	『富山県高岡市明治三十三年度歳入出総計予算書』	1	歴史	中村喜久雄氏
36.	ハサギボリ	1	民俗	吉久 進氏

郷土の歴史資料などの情報を求めています

歴史資料や生活資料は、社会の変遷や興亡の足跡を理解する上での貴重な文化遺産です。当博物館では、古文書・生活資料などの収集保存を行い展示に生かしたいと考えております。情報がありましたら、是非ご提供をお願いいたします。

平成23年度 高岡市立博物館 行事予定

イベントスケジュール		
月	展示	イベント・講座
4月	4/1 常設展 「新資料展①」 「高岡ものがたり」 「楽しく知ろう！こころのミニミュージアム」	9日 呈茶の会「松簾庵」 — 博物館で抹茶を楽しみませんか — ① 24日 ワークショップ 「切り紙で前田利長・利政のカブをつくろう！」
5月	5/8 「新資料展②」	7日 郷土学習講座① 「幕末維新の瑞泉寺 — 住職・触頭・加賀藩」
6月		18日 郷土学習講座② 「一向一揆と勝興寺、そして…上杉謙信」
7月	7/30 「セピア色の高岡」 特別展	
8月		20日 たかおか歴史探検隊！ 「きみも1日学芸員になってみよう」
9月		10日 郷土学習講座③ 「中世北陸の真宗について」
10月	10/16	1日 特別講演会 「商工都市高岡のあゆみ」
11月		5日 呈茶の会「松簾庵」 — 博物館で抹茶を楽しみませんか — ②
12月		3日 郷土学習講座④ 「高岡地域の真宗寺院の成立と他宗寺院との関係」
1月		
2月	2/4 館蔵品展②	4日 郷土学習講座⑤ 「宣明と僧樸 — 東西本願寺派の碩学」
3月		

◆平成23年度 郷土学習講座「浄土真宗」

- 第1講
・講師 高橋 延定氏(井波別院瑞泉寺法宝物整理調査員)
・演題 「幕末維新の瑞泉寺 — 住職・触頭・加賀藩」
・日時 5月7日(土) 午後2時～3時30分
- 第2講
・講師 樽谷 雅好氏(高岡市児童文化協会副会長)
・演題 「一向一揆と勝興寺、そして…上杉謙信」
・日時 6月18日(土) 午後2時～3時30分
- 第3講
・講師 木越 祐馨氏(七尾市文化財保護審議会委員)
・演題 「中世北陸の真宗について」
・日時 9月10日(土) 午後2時～3時30分
- 第4講
・講師 久保 尚文氏(地方史研究協議会理事)
・演題 「高岡地域の真宗寺院の成立と他宗寺院との関係」
・日時 12月3日(土) 午後2時～3時30分
- 第5講
・講師 森越 博氏(氷見市立図書館副主幹)
・演題 「宣明と僧樸 — 東西本願寺派の碩学」
・日時 平成24年2月4日(土) 午後2時～3時30分

- いずれも、
・会場 当館3階講堂
・定員 当日先着80名(事前申込不要)
・受講料 無料

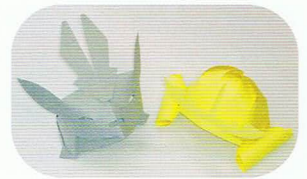
◆ワークショップ 「切り紙で前田利長・利政のカブをつくろう！」

博物館では利長由来の兜「三十二間阿古陀形筋兜」に加え、今年卯年であることにもちなみ、弟・利政由来の兜「銀兎耳形兜」をテーマに兜を作ります。

みなさん1人ひとりが考える利長・利政の兜を夢いっぱい楽しみながら作ってみませんか。

- ・日時 平成23年4月24日(日) 10時～12時
- ・会場 当館3階講堂
- ・講師 飛見 立郎氏(高岡市立博物館協議会 副会長)
- ・対象 幼児・児童(幼児は親同伴)
- ・参加料 300円
- ・持ち物 はさみ、色鉛筆
- ・定員 30名(申込順)

※お申込は4月6日より電話にて
受付します(電話 0766-20-1572)



◆特別展「セピア色の高岡」

会期 平成23年7月30日(土)～10月16日(日) [入館無料]

高岡は、慶長14年(1609)に加賀前田家二代当主・前田利長によって高岡城の城下町として開かれ、あとを継いだ利常は、高岡を「城下町から商工業の町へ」と転換を図りました。

明治以降高岡はより大きな商工業都市を目指し、次第に北陸の代表的な商都とよばれるほどの発展を遂げていきます。

本展では、当館が収蔵する高岡名勝絵葉書や地図、観光案内図、鳥瞰図などを中心に展示し、明治から昭和期にかけてみられる高岡市内の風景や人々の生活の様子などを紹介します。



越中名勝絵葉書「高岡公園」
(昭和8年～19年、当館蔵)

○特別講演会

- ・日時 平成23年10月1日(土) 午後2時～3時30分
- ・演題 「商工都市高岡のあゆみ」
- ・講師 米原 寛氏(富山県[立山博物館]館長)
- ・会場 当館3階講堂
- ・定員 当日先着80名(事前申込不要)
- ・受講料 無料



- 開館時間 —
午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)
- 休館日 —
毎週月曜日
(月曜日が祝・休日の場合はその翌平日)
年末年始
(12月29日～1月3日)
- 交通 —
JR高岡駅より徒歩15分
- 入館無料 —